

知的障がい支援学校新校整備事業費～知的障がい支援学校等における教室不足の解消等について～

1 設置基準への不適合や教室不足の解消のための調査検討の結果《概要》

「特別支援学校設置基準」(R3年9月制定)⇒令和5年4月1日全面施行

趣旨: 在籍者数の増加により慢性的な教室不足が続いている支援学校の教育環境を改善する観点から制定されたもの

- ・校舎面積基準 : 在籍者数に応じた必要な面積(在籍者数や障がいの状況により変動)
- ・学級編制基準 : 1学級の児童生徒数(小学部・中学部 6人以下、高等部8人以下)

※基準策定以前に設置されている支援学校については、当分の間、設置基準によらないことができるが、可能な限り速やかに基準を満たすこととなるよう努めることが規定されている。

「令和3年度公立特別支援学校における教室不足調査(令和3年度 文部科学省)」の結果

■ 不足教室: 「児童生徒の増加に伴う一時的な対応をしている教室数」

特別教室等の転用や間仕切り等の対応によって使用している室	その他の対応		合計
	一つのHR教室で基準を超過【学級編制基準を満たすために必要となる普通教室】	その他、不足している特別教室や管理諸室など	
208室	168室	152室	528室

① 113室	② 48室	③ 343室	24室
--------	-------	--------	-----

対応が必要な室数 391室 (②48室 + ③343室) ※24室は絶対数の確保(転用教室の還元等)によって連動して解消。

- ➔ ① 113室: 教室使用の工夫等によって教育活動への影響を緩和
 - ➔ ② 48室: 既存教室の改修など環境改善によって教育活動への影響を解消
 - ➔ ③ 343室: 既存校舎では限界⇒教室の絶対数の確保が必要(法令の基準は、学校設置基準が唯一)

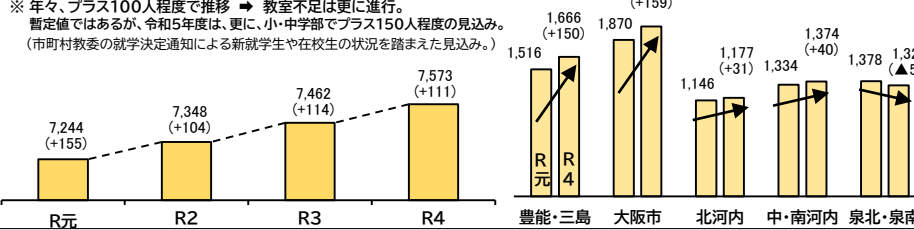
■ 対応が必要な「391室」(②48室+③343室)の解消手法

手法の概要	短期的	中・長期的	
	環境改善(② 48室)	絶対数の確保(③ 343室)	うち、自然解消
具体的な内容	手洗い場や空調の設置、照度の改善、吸音材対策など	校舎増築や新校設置等の学校整備(学校整備に合わせて、通学区域割の調整による人数規模の適正化を含む)	人口減少等による在籍者数の減少(40室程度)

※R3年10月時点の在籍者数による教室不足調査(文部科学省)をベースとしたものであり、各校における毎年度の在籍者数や児童生徒の障がいの状況、教室の配置状況等により変動あり。

(参考) 府立支援学校における知的障がいのある児童生徒の推移

【全体】 ※ 年々、プラス100人程度で推移 ⇒ 教室不足は更に進行。暫定値ではあるが、令和5年度は、更に、小・中学部でプラス150人程度の見込み。(市町村教委の就学決定通知による新就学生や在校生の状況を踏まえた見込み。)



2 教室不足の解消等に向けた今後の対応～全体の整備計画について～

【基本的な考え方】 在籍者数の増加が見込まれる地域を中心に、国の「特別支援学校設置基準」に定められた校舎面積基準、学級編制基準への不適合の解消を優先し、今後10年以内で、できるだけ早期に教室不足を解消できるよう対応を進めていく。 ※取組み期間は、令和14年度までの10年間で、5年後を目途に必要に応じて見直す(教育振興基本計画)。

地域	校舎面積不適合		対応が必要な室数		現在の取組み	今後の対応(案)
	不適合校数	全校(知肢併置校含む)	転用や間仕切り、特別教室等の不足数	学級編制基準を満たすために必要となる室数		
豊能三島	2校 ・豊中 ・箕面	6校	51室	42室	-	・既存の教室等の環境改善 ・閉校した高校等の活用 1校程度(場所未定) ・校舎増築(摂津)
大阪市	3校 ・思兼 ・生野 ・住之江	6校	82室	76室	・新校整備(西淀川) ・府立高校内への移転・併設(生野)	・既存の教室等の環境改善 ・校舎増築(東淀川) ・閉校した高校等の活用 2校程度(場所未定)
北河内	1校 ・守口	4校	37室	10室	・交野支援学校四條畷校の活用 (～R9年度まで)	・既存の教室等の環境改善 ・交野支援学校四條畷校の本校化
中河内 南河内	1校 ・八尾	4校	19室	23室	-	・既存の教室等の環境改善 ・閉校した高校等の活用 1校程度(場所未定)
泉北 泉南	2校 ・和泉 ・泉北	5校	25室	12室	-	・既存の教室等の環境改善
他の種別	5校	21校	9室	5室	-	・既存の教室等の環境改善
合計	14校	46校	223室	168室	391室	

3 令和5年度 予算要求の考え方

- ◆ 在籍者数が年々増加する地域は、教室不足が更に進むことから、計画的に支援学校整備を進める必要がある。できるだけ早期に、子どもたちにとって適切な教育環境を整えるため、令和10年度末までに対策を完了したい。(別添スケジュール参照)
- ◆ この考え方のもと、令和5年度予算は、以下のとおりお願いしたい。
 - ① 対応が急務なのは、豊能・三島地域と大阪市地域。
 - ② 最も最短で教室数の確保が可能な「校舎増築(プレハブ工法により3年程度)」に着手したい。
 - ③ 校地狭小で増築不可なため「閉校した高校等の活用」は、工事竣工まで最短で5～6年程度を要することから、対応が急務な豊能・三島、大阪市地域にかかるものは、財務部長内示1校に加えて、もう2校に着手したい。

	豊能・三島	大阪市	北河内	中河内・南河内
R5予算	課長内示	・閉校活用(西淀川) ・高校併設(生野)		
	部長内示	・閉校した高校等の活用 1校程度 ※既存の教室等の環境改善は「既定経費対応」		
	復活要求	・校舎増築(摂津及び東淀川) ・閉校した高校等の活用 2校程度		
R6予算以降	・閉校した高校等の活用 1校程度 ・交野支援学校四條畷校の本校化			

■ 府立支援学校における知的障がいのある児童生徒の在籍者数の推移

全体		H20年度	H25年度	H30年度	R4年度	(H20比)
		4,434	5,823	7,089	7,573	(+3,139:1.71)
豊能 三島	豊中支援	209	318	346	426	(+217:2.04)
	箕面支援	28	41	38	44	(+16:1.57)
	高槻支援	301	301	325	357	(+56:1.19)
	茨木支援	64	64	97	111	(+47:1.73)
	摂津支援【H25～】	-	217	299	341	(+341)
	とりかい高等支援【H25～】	-	38	114	108	(+108)
	吹田支援【H10～】	284	244	243	271	(▲13:0.95)
計		886	1,223	1,462	1,658	(+772:1.87)
大阪市	東淀川支援【H27～】	-	-	246	288	(+288)
	思斉支援	296	355	288	351	(+55:1.19)
	難波支援【H27拡充～】	175	220	252	255	(+80:1.46)
	なにわ高等支援【H27～】	-	-	140	153	(+153)
	生野支援	338	290	308	380	(+42:1.12)
	東住吉支援(知的)【H25～】	-	257	324	348	(+348)
	住之江支援	280	308	225	261	(▲19:0.93)
計		1,089	1,430	1,783	2,036	(+947:1.87)
北河内	枚方支援【H27～】	-	-	382	365	(+365)
	むらの高等支援【H27～】	-	-	112	111	(+111)
	寝屋川支援	385	354	355	374	(▲11:0.97)
	交野支援(H21まで知肢)	91	-	-	-	(▲91)
	交野支援四條畷校【H22～】	-	236	138	197	(+197)
	守口支援	190	204	178	180	(▲10:0.95)
計		666	794	1,165	1,227	(+561:1.84)
中 南 河 内	たまがわ高等支援【H18～】	147	223	206	197	(+50:1.34)
	東大阪支援	97	92	74	70	(▲27:0.72)
	八尾支援	365	298	392	386	(+21:1.06)
	八尾支援東校(H22～26)	-	247	-	-	--
	西浦支援【H27～】	-	-	413	400	(+400)
	富田林支援	325	375	329	356	(+31:1.10)
計		934	1,235	1,414	1,409	(+475:1.51)
泉 北 泉 南	堺支援	38	98	72	79	(+41:2.08)
	泉北高等支援(H10まで病弱)	149	142	146	146	(▲3:0.98)
	和泉支援	253	305	335	305	(+52:1.21)
	佐野支援	419	470	393	334	(▲85:0.80)
	佐野支援砂川校(H22～25)	-	126	-	-	--
	泉南支援【H26～】	-	-	206	268	(+268)
	すながわ高等支援【H26～】	-	-	113	111	(+111)
計		859	1,141	1,265	1,243	(+384:1.45)

■ 支援学校整備のスケジュールについて

今後の対応（案）		R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
豊能 三島	閉校した高校等の活用 （1校程度） 《場所未定》	基本 計画	基本 設計	実施 設計	工事		利用開始	
	校舎増築（摂津支援）	基本 設計	実施 設計	工事	利用開始			
大阪市	新校整備（もと西淀川高校）	工事	利用開始					
	府立高校内への移転・併設 （生野支援）	基本 設計	実施 設計	工事			利用開始	
	校舎増築（東淀川支援）	基本 設計	実施 設計	工事	利用開始			
	閉校した高校等の活用 （2校程度） 《場所未定》	基本 計画	基本 設計	実施 設計	工事		利用開始	
北河内	交野支援学校四條畷校の 本校化		基本 計画	基本 設計	実施 設計	工事		利用開始
中河内 南河内	閉校した高校等の活用 （1校程度） 《場所未定》		基本 計画	基本 設計	実施 設計	工事		利用開始